

《 幹事報告 》 土屋一博 幹事

- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。
ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
・2025-2026年度 月信10月号
・サポセン和歌山 第63号（更生保護サポートセンター パンフレット）
- ② 2024-2025年度 活動報告書を皆様のラックに入れてあります。定款第7条第2節 年次総会で、12月の第1例会（年次総会）で前年度の財務報告を発表する。と決まっておりますので、お目通し下さい。
- ③ ロータリーレート 10月は1\$=149円です。
- ④ 先週9月22日～23日にかけて台湾東部花蓮県での超大型台風18号の被害について、台北東南RCに様子をお伺いいたしました。前年度 幹事のLeo様より「台北市内は無事でメンバーも大きな影響はなかったようです」とのお返事をいただきました。
- ⑤ 岡本弥生ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ 開所日：10月1日（水）、
住所：640-8331 和歌山市美園町3-34 けやきOne301号室、TEL426-2640
- ⑥ 来週8日（水）の例会は休会①です。再来週15日（水）例会は祝日週（スポーツの日）休会です。
- ⑦ 本日例会終了後、定例理事会を開催致します。役員・理事の皆様、宜しくお願い致します。



《 ニコニコ箱報告 》 寺下能明 副会計

小林君：松田会員 本日の会員卓話 たのしみです。
保田君：10月ですね、心地よい月でありますように！

《 ロータリー財団 》

山田君：地引網、皆様 よろしくお願いいいたします。

《 55周年 BOX 》

小林君：趣旨に賛同して。
土屋君：松田さん 本日卓話たいへん楽しみにしています。
竹中君：欠席続きで恐縮です。
山口君：こんばんはー！
中君：枯れ木も山のにぎわい



♪ ソング斉唱 ♪

山田ソング委員長・辻本副幹事
「君が代」「われ等和歌山東南ロータリー」



「 委員会報告 」

吉田姉妹クラブ委員長

来週10月8日（水）熊本東南RC 例会訪問が近づいてまいりました。本日新幹線のチケットを参加の皆様にお渡しさせていただきました。当日集合は9:30 JR 和歌山駅中央改札口です。よろしくお願いいいたします。





来週の例会 10月8日、15日と休会ですので、18日（土）の地引網の最後のお知らせです。10時集合です。10時半頃から地引網体験、その後バーベキュー14時半ごろから15時頃には終わる予定です。

参加人数は会員16名、御家族・知人全員で35～36名です
親睦行事ですので、時間がとれましたら飛び込みでも結構ですのでご参加ください
その場合は保険には入れませんがご了承くださいませ。

小雨決行です、皆様よろしくお願いたします。

《 会員卓話 》 松田敏明会員 「初めての卓話」



みなさま、こんばんは。

本年度、例会委員長にも就かせていただいております、松田です。

卓話を依頼する者が卓話をしたことがないというのも問題だと思っておりました。紆余曲折ありながら、2019年1月、中岡会長時代に入会を認めていただきました。初例会で「本人誕生日」「配偶者誕生日」で合計1万円の浄財の義務を知ったとき、こりゃすぐに退会せな生活が苦しくなるぞ、と冷や汗が背中に浮いたこと、昨日のことのように覚えております。

さて、例会委員長の職責。

先々の予定を確認して、どの例会が「空白」なのか、何月間なのか、流れはどうなのか、などなどを勘案してコンテンツを考えなければならないのですが、ホームページの年間予定表が全く信用ならないので、たいへん苦勞しております。

そのような状況で、さて、何を話せばよいのか、

考えて顧みて慮って、夜しか眠れず、食事も3回しか喉を通りませんでした。

少しでも「ああ、なるほどなあ」と思ってもらえるようにしようということで、「今年、もっともハハアーンと思った本」について、お話したいと思ひます。

森嶋通夫著『日本はなぜ没落するのか』です。

1998年に、2050年を想定して著されたものです。

この方は、今のところ、「日本で唯一、ノーベル経済学賞に近かった方」です。

本著では、「人口の分裂」「精神の荒廃」「金融の荒廃」「産業の荒廃」「教育の荒廃」という、交響曲のように、あらゆる要素の腐敗を織り重ね、「右傾化」という、歴史上の亡国の典型的プロセスを踏襲するであろうことを述べられています。今は2025年。ずいぶん早く、その時が訪れつつあるようです。

森嶋氏は、その処方箋も明示されておりますので、ご興味ある方は一度、お読みになってみてください。

さて、ここでご案内したいのは、「人口の分裂」のところですよ。

敗戦を経ての1946年にあった学制改革を軸に、日本は分裂しました。

戦前の教育が180度転換されたのですが、その瞬間、そのときに教壇に立っていた方々は、「素人」になったのです。

だから、結局、教育の現場は、戦前の影響のもとに続きます。

教師の入れ替わり、被教育層の入れ替わりが徐々に進む中、形式上、完全に戦前の影響が教育の現場から消えたのは、2004年あたりです。

つまり、我々の価値観と、現在27歳以下の方々とのは、全く異なるものと考えねばなりません。

これは、会員増強のヒントであると思ひれます。

将来の和歌山東南RCを支える方々を理解せねば、歩み寄ることはできません。

彼らから歩み寄ってくることは絶対にありません。

この卓話が、理解への第一歩になれば幸いです。

次回の会員卓話は、12月17日（水）です。

本年度は、「卓話者に指名権あり」というルールです。

手拝会員、登立会員、岸会員、林会員の4名のいずれかの方でお願いします。

合議により10月末日までにお決めになってください。

◀ 熊本東南 RC 例会訪問 2025 年10月8日(水) - 9日(木) ▶ 熊本ホテルキャッスル
参加者：会員 21 名、ご家族 3 名(観光 5 名、ゴルフ 11 名)

「熊本へ出発 10/8」
11:20 発 さくら 553 号



「熊本東南 RC 例会参加」
10月8日(水)
熊本ホテルキャッスル

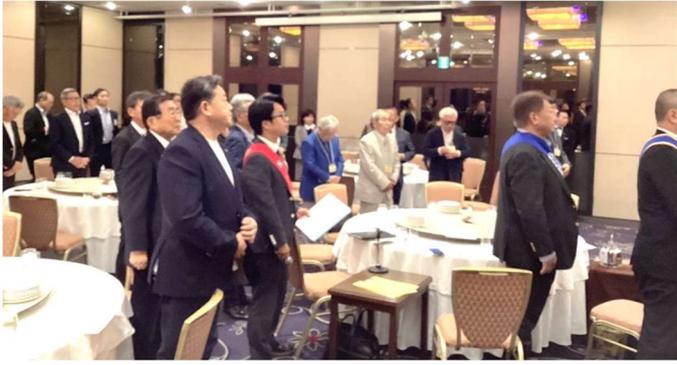


「挨拶」小林会長



辻本 55 周年実行副委員長

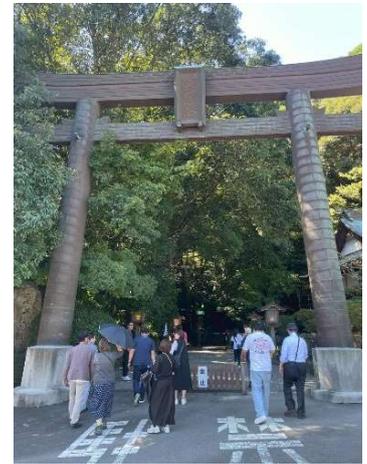




「二次会 10/8 (水)」



「 観光 10/9 (木) 高千穂峡、高千穂神社 道の駅 」





「 ゴルフ 10/9 (木) 熊本ゴルフ倶楽部 城南コース 」



「優勝」岸会員
♪おめでとうございます♪

